



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月12日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東
 コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 田中 彰一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 杉山 茂紀 TEL 042-764-0392
 定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	8,480	13.6	792	304.5	837	243.6	561	242.0
2024年3月期	7,463	△26.3	195	△80.8	243	△77.4	164	△78.9

(注) 包括利益 2025年3月期 624百万円(100.5%) 2024年3月期 311百万円(△62.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	91.17	—	4.9	5.6	9.3
2024年3月期	26.67	—	1.4	1.6	2.6

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	15,451	11,590	75.0	1,879.99
2024年3月期	14,334	11,397	79.5	1,849.71

(参考) 自己資本 2025年3月期 11,590百万円 2024年3月期 11,397百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	178	△332	△444	4,813
2024年3月期	1,080	△104	△493	5,294

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	435	262.5	3.8
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	435	76.8	3.8
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		78.3	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期(累計)	4,000	54.4	90	775.9	90	—	44	—	7.14
通期	9,500	12.0	800	1.0	840	0.3	570	1.4	92.48

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

	2025年3月期	6,499,000株	2024年3月期	6,499,000株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	333,949株	2024年3月期	336,949株
② 期末自己株式数	2025年3月期	6,163,684株	2024年3月期	6,160,201株
③ 期中平均株式数				

2025年3月期の期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式63,300株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	8,164	12.9	736	207.5	791	181.6	533	164.1
2024年3月期	7,228	△25.4	239	△73.1	281	△70.3	201	△70.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	86.54	—
2024年3月期	32.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	14,327	10,540	73.6	1,709.68
2024年3月期	13,418	10,543	78.6	1,711.08

(参考) 自己資本 2025年3月期 10,540百万円 2024年3月期 10,543百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 生産、受注及び販売の状況	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、インフレの沈静化などを背景に地域による異なりはあるものの緩やかな回復基調となりました。しかしながら地政学リスクの長期化や、中国不動産市場の停滞など不安定要素もあり、不確実性の高い状況で推移しました。

わが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策効果もあり緩やかな回復が続いておりますが、不安定な国際情勢、エネルギー価格の高騰に伴う物価の上昇、アメリカの政策動向による影響など、世界経済の下振れがわが国経済を下押しするリスクが続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主要取引先の電子部品メーカーにおける在庫調整は進展しているものの、その長期化の影響により生産回復のペースは依然として緩やかに推移しており、設備投資に対しては、各電子部品メーカーともに自社製品の需要変動を見据えた慎重な姿勢が継続しました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル成膜依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品メーカーを中心とした新規先からの受注を獲得しました。また、既存の顧客である一部の国内外水晶デバイスメーカーより大口受注を獲得するとともに、海外光学メーカーからも前期に続き大口受注を獲得しております。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情などによる納品スケジュールの後倒しや、一部製品において物流の遅延が発生したこと等により、売上に軽微な影響を及ぼしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高は102億68百万円（前年同期比52.1%増）、売上高は84億80百万円（同13.6%増）となりました。

損益につきましては、経常利益8億37百万円（前年同期比243.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億61百万円（同242.0%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は79億58百万円（前年同期比90.1%増）、売上高は57億45百万円（同14.1%増）、セグメント利益は9億95百万円（同86.6%増）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界においては、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にある中、水晶デバイスメーカー各社の在庫調整も概ね正常化しました。また、自動車の電動化・自動運転化の進展や、1台あたりの搭載デバイス数の増加を背景に、車載向け水晶デバイスの需要拡大が見込まれております。こうした環境のもと、水晶デバイスメーカーの設備稼働率は回復傾向となり、加えて、米中関係の影響による生産拠点の多様化に伴い、一定の受注を確保することができました。売上に関しては、一部製品において物流の遅延が発生したことなどにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

水晶デバイス装置の受注高は35億92百万円（前年同期比352.6%増）、売上高は14億76百万円（同20.2%減）となりました。

(光学装置)

光学業界においては、スマートフォンを含む最終製品の需要は回復基調にあるものの、デバイスメーカー各社の設備投資は、依然として低調に推移しました。このような環境の中で、当社は第1四半期に続き、第4四半期においても海外メーカーよりスマートフォンのカメラレンズ向け増産設備として大口受注を獲得いたしました。売上に関しては、一部製品において物流の遅延が発生したことや、顧客の設備導入準備の遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

光学装置の受注高は27億88百万円（前年同期比41.8%増）、売上高は26億20百万円（同79.6%増）となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界においては、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努め、新規先からの受注を獲得しました。しかしながら、第3四半期以降は、引合い案件の受注時期が後ろ倒しとなる傾向が強まりました。売上に関しては、顧客の設備導入準備の遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

電子部品装置・その他装置の受注高は15億76百万円（前年同期比10.5%増）、売上高は16億48百万円（同4.5%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業においては、ユーザーに対する定期的な稼働状況の確認を通じて潜在ニーズの掘り起こしを図るとともに、顧客への生産性向上に向けた提案を積極的に推進いたしました。その結果、装置の改造工事受注、保守・メンテナンス受託、消耗品販売などにおいて安定した受注を獲得することができました。売上に関しては、光学デバイスメーカーの生産性向上ニーズに対応した大口の改造工事案件が寄与いたしました。

サービス事業の受注高は23億10百万円（前年同期比9.9%減）、売上高は27億34百万円（同12.7%増）、セグメント利益は7億53百万円（同11.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億16百万円増加し、154億51百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億68百万円増加し、117億25百万円になりました。これは主に売掛金が10億25百万円、仕掛品が5億67百万円増加し、現金及び預金が3億77百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、37億26百万円になりました。これは主に投資有価証券が1億87百万円減少したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億26百万円増加し、29億10百万円になりました。これは主に前受金が4億62百万円、未払法人税等が2億91百万円、支払手形及び買掛金が1億80百万円増加したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少し、9億50百万円になりました。これは主に退職給付に係る負債が1億円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加し、115億90百万円になりました。これは主に利益剰余金が1億25百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億81百万円減少し、48億13百万円になりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金獲得は1億78百万円（前年同期比83.4%減）となりました。これは主に売上債権の増加額9億21百万円、棚卸資産の増加額4億5百万円などによる使用があったものの、税金等調整前当期純利益8億36百万円、前受金の増加額4億62百万円、仕入債務の増加額2億13百万円などによる獲得があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は3億32百万円（前年同期比217.7%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2億20百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は4億44百万円（前年同期比9.9%減）となりました。これは主に配当金の支払額4億33百万円などの支出があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	65.4	63.6	74.5	79.5	75.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	70.9	52.0	56.0	61.0	53.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2	5.5	2.9	0.5	3.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,018.0	75.4	80.9	713.0	106.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は、アメリカの財政政策強化による堅調な国内需要の拡大や、中国の持続的な成長と構造改革を軸にした経済政策等が下支えとなり、堅実な成長が見込まれる一方で、地政学的リスクのさらなる高まりや、アメリカの通商政策やその他の政策動向による景気減速懸念が世界景気の重しとなり、先行きは不透明な状況となっております。

日本経済は、雇用・所得環境の改善と各種政策の効果により、緩やかな回復基調が続くことが期待されます。

当社グループを取り巻く環境を見ると、主要取引先電子部品メーカーの在庫調整は進展しているものの、スマートフォンをはじめとする最終製品需要の回復が緩やかであることから設備稼働率の回復も緩やかに推移しており、増産に向けた設備投資の本格的な回復時期は見通しづらい状況となっております。一方で、高度情報化社会の進展に伴い、実証実験から商用導入フェーズへの移行が見込まれるローカル5Gを含めた5Gの本格普及、AIやAR・VR・MR機器市場の拡大、自動車の電動化、自動運転技術、SDVの普及などにより、今後も高精度な電子部品需要の増加が見込まれます。

当社グループといたしましては、組織・機能の最適化・効率化、市場競争力の維持・向上、働きやすい会社づくりに取り組み、ひとつひとつ丁寧に心を込めて行動することで、受注・生産量の確保に努めてまいります。現時点における業績見通しは下表のとおりです。

なお、実際の業績等は今後の社会状況、経済状況の推移により大きく異なる可能性がございます。修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

①損益 (単位：百万円)

	2025年3月期実績	2026年3月期予想
売上高	8,480	9,500
受注高	10,268	9,618
経常利益	837	840
親会社株主に帰属する 当期純利益	561	570

②売上高 (単位：百万円)

	2025年3月期実績	2026年3月期予想
水晶デバイス装置	1,476	3,466
光学装置	2,620	2,347
電子部品装置・その他装置	1,648	1,289
部品販売・修理その他	2,734	2,398
合計	8,480	9,500

③受注高 (単位：百万円)

	2025年3月期実績	2026年3月期予想
水晶デバイス装置	3,592	2,720
光学装置	2,788	1,920
電子部品装置・その他装置	1,576	2,780
部品販売・修理その他	2,310	2,198
合計	10,268	9,618

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,355,778	4,978,440
受取手形	31,807	9,813
電子記録債権	540,138	475,143
売掛金	2,438,874	3,464,223
商品及び製品	1,550	745
仕掛品	1,576,022	2,143,234
原材料及び貯蔵品	517,186	364,266
その他	97,697	290,856
貸倒引当金	△1,814	△1,422
流動資産合計	10,557,240	11,725,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,555,364	2,608,072
減価償却累計額	△1,614,340	△1,709,920
建物及び構築物(純額)	941,024	898,152
機械装置及び運搬具	1,013,090	1,021,871
減価償却累計額	△944,612	△882,459
機械装置及び運搬具(純額)	68,478	139,412
土地	1,970,562	1,970,562
リース資産	51,862	51,862
減価償却累計額	△28,405	△36,695
リース資産(純額)	23,456	15,167
建設仮勘定	3,945	52,741
その他	502,150	516,668
減価償却累計額	△411,776	△443,149
その他(純額)	90,373	73,519
有形固定資産合計	3,097,841	3,149,555
無形固定資産		
リース資産	3,015	1,723
その他	68,057	68,268
無形固定資産合計	71,073	69,991
投資その他の資産		
投資有価証券	361,043	173,248
繰延税金資産	168,591	241,440
退職給付に係る資産	56,314	69,899
その他	23,078	22,944
貸倒引当金	△279	△981
投資その他の資産合計	608,747	506,550
固定資産合計	3,777,662	3,726,096
資産合計	14,334,902	15,451,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,648	565,494
電子記録債務	663,191	703,547
リース債務	10,529	7,246
未払費用	203,638	210,636
未払法人税等	11,707	303,101
前受金	213,328	675,519
賞与引当金	148,280	243,501
役員賞与引当金	16,000	56,000
製品保証引当金	58,000	69,000
工事損失引当金	-	32,700
その他	175,008	44,113
流動負債合計	1,884,333	2,910,860
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	18,579	11,333
退職給付に係る負債	358,935	258,317
株式給付引当金	49,793	55,407
長期末払金	75,282	75,235
固定負債合計	1,052,591	950,293
負債合計	2,936,924	3,861,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,225,128	6,351,075
自己株式	△313,430	△309,269
株主資本合計	10,882,608	11,012,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203,420	98,325
為替換算調整勘定	301,172	431,329
退職給付に係る調整累計額	10,776	47,873
その他の包括利益累計額合計	515,370	577,528
純資産合計	11,397,978	11,590,245
負債純資産合計	14,334,902	15,451,399

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,463,741	8,480,131
売上原価	5,425,072	5,802,408
売上総利益	2,038,668	2,677,722
販売費及び一般管理費	1,842,815	1,885,447
営業利益	195,853	792,274
営業外収益		
受取利息	10,636	9,337
受取配当金	3,225	4,257
受取保険金	-	20,000
受取賃貸料	2,158	2,159
保険配当金	11	18,905
補助金収入	8,784	157
為替差益	24,255	12,816
その他	3,176	6,316
営業外収益合計	52,249	73,951
営業外費用		
支払利息	1,588	1,679
支払保証料	1,535	1,538
組合投資損失	-	24,703
その他	1,212	767
営業外費用合計	4,336	28,689
経常利益	243,766	837,536
特別損失		
固定資産除却損	512	1,201
特別損失合計	512	1,201
税金等調整前当期純利益	243,253	836,334
法人税、住民税及び事業税	87,815	315,967
法人税等調整額	△8,848	△41,564
法人税等合計	78,966	274,403
当期純利益	164,287	561,931
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	164,287	561,931

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	164,287	561,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,899	△105,095
為替換算調整勘定	49,469	130,156
退職給付に係る調整額	10,608	37,096
その他の包括利益合計	146,977	62,158
包括利益	311,264	624,090
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	311,264	624,090
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,177,105	2,793,805	6,496,826	△316,897	11,150,838
当期変動額					
剰余金の配当			△435,984		△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益			164,287		164,287
株式給付信託による自己株式の処分				3,467	3,467
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△271,697	3,467	△268,230
当期末残高	2,177,105	2,793,805	6,225,128	△313,430	10,882,608

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	116,521	251,703	168	368,392	11,519,231
当期変動額					
剰余金の配当					△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益					164,287
株式給付信託による自己株式の処分					3,467
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	86,899	49,469	10,608	146,977	146,977
当期変動額合計	86,899	49,469	10,608	146,977	△121,252
当期末残高	203,420	301,172	10,776	515,370	11,397,978

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,177,105	2,793,805	6,225,128	△313,430	10,882,608
当期変動額					
剰余金の配当			△435,984		△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益			561,931		561,931
株式給付信託による自己株式の処分				4,161	4,161
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	125,946	4,161	130,107
当期末残高	2,177,105	2,793,805	6,351,075	△309,269	11,012,716

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	203,420	301,172	10,776	515,370	11,397,978
当期変動額					
剰余金の配当					△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益					561,931
株式給付信託による自己株式の処分					4,161
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△105,095	130,156	37,096	62,158	62,158
当期変動額合計	△105,095	130,156	37,096	62,158	192,266
当期末残高	98,325	431,329	47,873	577,528	11,590,245

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	243,253	836,334
減価償却費	292,030	185,318
組合投資損失	-	24,703
固定資産除却損	598	1,201
貸倒引当金の増減額(△は減少)	185	162
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39,097	△60,764
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,000	40,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,725	95,220
製品保証引当金の増減額(△は減少)	8,000	11,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△22,900	32,700
株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,306	9,775
受取利息及び受取配当金	△13,862	△13,580
支払利息	1,588	1,679
売上債権の増減額(△は増加)	330,402	△921,017
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,158,531	△405,465
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,023,887	213,037
未払費用の増減額(△は減少)	△37,805	24,788
未収消費税等の増減額(△は増加)	107,770	△201,888
未払消費税等の増減額(△は減少)	126,121	△128,313
前受金の増減額(△は減少)	100,134	462,049
その他	△33,563	△36,379
小計	1,207,275	170,562
利息及び配当金の受取額	13,864	13,574
利息の支払額	△1,515	△1,750
法人税等の支払額	△139,369	△3,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,080,254	178,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,400	△102,400
有形固定資産の取得による支出	△80,957	△220,721
無形固定資産の取得による支出	△11,260	△31,540
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
組合出資金の払戻による収入	-	22,852
その他	117	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,500	△332,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,480	-
配当金の支払額	△434,612	△433,855
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,533	△10,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△493,627	△444,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	64,227	116,500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	546,354	△481,132
現金及び現金同等物の期首残高	4,748,205	5,294,560
現金及び現金同等物の期末残高	5,294,560	4,813,428

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとしします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当連結会計年度末は87,797千円、63,300株です。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、真空技術応用装置の製造・販売、構成部品・付属品の販売、改造工事及び修理を主な事業としており、種類別に区分された事業ごとに包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業の種類を基礎とした事業セグメントから構成されており、「真空技術応用装置事業」及び「サービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「真空技術応用装置事業」は、業界別に水晶デバイス装置、光学装置、電子部品・その他装置を製造販売しております。「サービス事業」は主に真空技術応用装置の構成部品・付属品の販売、改造工事及び修理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,036,247	2,427,493	7,463,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,398	4,725	10,123
計	5,041,646	2,432,218	7,473,864
セグメント利益	533,379	678,728	1,212,108
セグメント資産	6,743,722	1,592,437	8,336,160
その他の項目			
減価償却費	270,544	11,039	281,583
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	49,243	2,099	51,342

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,745,502	2,734,628	8,480,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,089	7,991	29,080
計	5,766,592	2,742,619	8,509,212
セグメント利益	995,462	753,586	1,749,048
セグメント資産	8,020,000	1,901,149	9,921,150
その他の項目			
減価償却費	166,034	8,792	174,826
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	256,033	5,648	261,682

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,473,864	8,509,212
セグメント間取引消去	△10,123	△29,080
連結財務諸表の売上高	7,463,741	8,480,131

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,212,108	1,749,048
セグメント間取引消去	27,458	45,006
全社費用(注)	△1,043,712	△1,001,780
連結財務諸表の営業利益	195,853	792,274

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,336,160	9,921,150
全社資産(注)	5,998,742	5,530,249
連結財務諸表の資産合計	14,334,902	15,451,399

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	281,583	174,826	10,496	10,492	292,079	185,318
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額(注)	51,342	261,682	230	11,532	51,573	273,214

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の設備投資額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,850,578	433,656	2,284,234
光学	1,459,210	1,034,025	2,493,235
電子部品	1,726,458	813,495	2,539,953
その他	—	146,317	146,317
顧客との契約から生じる収益	5,036,247	2,427,493	7,463,741
外部顧客への売上高	5,036,247	2,427,493	7,463,741

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,476,526	383,973	1,860,500
光学	2,620,211	1,186,853	3,807,065
電子部品	1,648,764	1,054,543	2,703,308
その他	—	109,257	109,257
顧客との契約から生じる収益	5,745,502	2,734,628	8,480,131
外部顧客への売上高	5,745,502	2,734,628	8,480,131

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,849.71円	1,879.99円
1株当たり当期純利益金額	26.67円	91.17円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	164,287	561,931
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	164,287	561,931
期中平均株式数(株)	6,160,201	6,163,684

3. 2020年11月24日より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入したことに伴い、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額の算定上、信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度は68,150株、当連結会計年度は64,667株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,850,578	24.8	1,476,526	17.4
光学装置	1,459,210	19.6	2,620,211	30.9
電子部品装置	1,726,458	23.1	1,648,764	19.4
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	5,036,247	67.5	5,745,502	67.8
サービス事業				
改造工事	925,718	12.4	1,116,961	13.2
部品販売	906,205	12.1	1,119,192	13.2
修理・その他	593,565	8.0	496,815	5.9
サービス事業計	2,425,490	32.5	2,732,969	32.2
合 計	7,461,737	100.0	8,478,472	100.0

(注) 金額は販売価格によっております。

②受注高

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	793,686	11.8	3,592,457	35.0
光学装置	1,966,738	29.1	2,788,936	27.2
電子部品装置	1,426,494	21.1	1,576,724	15.4
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	4,186,919	62.0	7,958,118	77.5
サービス事業				
改造工事	1,062,491	15.7	692,512	6.7
部品販売	908,209	13.5	1,120,851	10.9
修理・その他	593,565	8.8	496,815	4.8
サービス事業計	2,564,265	38.0	2,310,179	22.5
合 計	6,751,184	100.0	10,268,297	100.0

③受注残

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,124,338	23.3	3,240,269	49.0
光学装置	2,036,015	42.2	2,204,740	33.3
電子部品装置	855,525	17.7	783,485	11.8
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	4,015,879	83.2	6,228,495	94.1
サービス事業				
改造工事	813,130	16.8	388,681	5.9
部品販売	—	—	—	—
修理・その他	—	—	—	—
サービス事業計	813,130	16.8	388,681	5.9
合計	4,829,009	100.0	6,617,176	100.0

④販売額

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,850,578	24.8	1,476,526	17.4
光学装置	1,459,210	19.6	2,620,211	30.9
電子部品装置	1,726,458	23.1	1,648,764	19.4
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	5,036,247	67.5	5,745,502	67.8
サービス事業				
改造工事	925,718	12.4	1,116,961	13.2
部品販売	908,209	12.1	1,120,851	13.2
修理・その他	593,565	8.0	496,815	5.9
サービス事業計	2,427,493	32.5	2,734,628	32.3
合計	7,463,741	100.0	8,480,131	100.0

⑤主要な輸出先

主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

区分	前連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		当連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
台湾	1,562,329	47.1	2,840,822	53.5
中国	1,297,899	39.1	2,060,558	38.8
韓国	4,896	0.1	109,108	2.1
タイ	324,583	9.9	95,018	1.8
マレーシア	35,910	1.1	88,106	1.7
ベトナム	5,199	0.2	70,301	1.3
インドネシア	18,048	0.5	20,252	0.4
フィリピン	45,668	1.4	13,252	0.2
スイス	—	0.0	4,120	0.1
メキシコ	1,028	0.0	2,428	0.0
その他	21,754	0.6	2,872	0.0
合 計	3,317,318 (44.4%)	100.0	5,306,840 (62.6%)	100.0

(注) () 内は販売実績に対する輸出高の割合です。